

# 10月の例会報告

## 日立支部

10月2日(水) 多賀市民会館にて  
『私の原動力は「好き・楽しい」』  
報告者:石田 直也さん 金丸釣具店 店長



日立支部10月例会は「付加価値と情報発信」をテーマに金丸釣具店の石田さんに報告いただきました。石田さんは、大手釣具店・地元NPO法人・スポーツショップ等、過去の経験を糧として、ご自身が心から「好き・楽しい」と感じる釣りの情報、を様々なメディアを利用し発信し続け、その結果、金丸釣具店のファンも確実に増えています。また「釣りツアー」や「釣りの大会」の主催、コラボ企画に「金魚すくい」でのイベント出店にも取り組まれ、釣具店だけでは難しかった新たな販路の開拓や企業や行政とのつながりを結ぶ事もされています。そんな中で受講した「経営指針成文化セミナー(現:経営指針を創る会)」では、悩みながらも自社の事業が「釣具や餌を販売」ではなく「ファミリー向けにエンターテインメントを提供」する事だと気付き、またご自身は「釣りコンシェルジュ」であり続けると決意されました。また近未来を創造し、釣り場の減少を危惧したことから「釣堀の運営」または「釣船の運行や他事業者へのアウトソーシング」を検討されています。グループ討論では「付加価値とは？」をテーマに「生活のちょっと先にあるものを創造出来ると、それが付加価値なのでは？」という意見がありました。石田さんを例に考えてみると、釣りは生活する上で必要とはいえません。しかし、家族で金丸釣具店を利用し、石田さんの釣りツアーに参加し、家族団らの時間が出来、釣れた時に家族での共有した達成感を持つことが出来ると、絆が深まり、生活は明るくなるかもしれません。それこそが「生活のちょっと先にあるもの」のように感じます。中小企業や個人事業はより自社の業務を愛する事がし易いように感じます、その愛している事業を、誰に提供したいか？そしてその方がどのようになってほしいかを考え続け、でた答えを広報し続けることが付加価値を生み出す第一歩ではないでしょうか？ (レポート:白土 正博さん)



## 県央海浜支部

10月11日(金) ひたちなか文化会館小会議室にて  
『11年間離職者ゼロ!!さらに長年の赤字続きが大幅黒字に変わった  
~キーワードは人時生産性~』  
報告者:阿久津 隆男さん (株)ソフナース 代表取締役



県央海浜支部10月例会報告は、ひたちなか文化会館を会場に開催しました。報告者は我らが阿久津支部長。11年間離職者ゼロ!!さらに長年の赤字続きが大幅黒字に変わった~キーワードは人時生産性~と題して、同友会での気づき・学びを正直に実践して来たことで、経営者としての覚悟を持ち、会社が変わり、社員が成長して来た、その歩みを報告いただきました。生産性の向上には、会社の数字をしっかりと知る事が重要であること、数字はしっかり見える化し、きちんと確認していくことが大切だと改めて感じることが出来ました。「人時生産性」というキーワードを得ることが出来たので、今日の学びをこれから実践に移していきたいと思えます。(レポート:矢内 久子)

※10月16日に予定されていた県西支部例会は、台風等の影響を考慮し延期といたしました。

## 水戸支部

10月23日(水) 茨城県総合福祉会館にて  
『トヨタが製造業じゃなくなる時代に何を作る？  
~「夢」と「危機感」の狭間で生まれた金属製蝶ネクタイは  
世界へと舞い上がる~』  
報告者:青木 恵之さん (有)日青工業 専務取締役



ドラゴン支部支部長の青木さんに夢と危機感というテーマでご報告して頂きました。5年後に今の仕事がある保証は無いという危機感から、茨城県中小企業家同友会経営指針セミナーで指針を作り、自分の会社はコンテンツ企業であると定義。自社ならではの金属製蝶ネクタイ「メタルバタフライ」誕生により、夢を描き仲間と共に世界を見据えた大きな野望が開かれました。青木さんならではの実践に基づく仮説は、参加者から凄いと声を多数頂きました。危機感を持ち続け、自己分析をし、お客様に長く愛されるサービス提供の大事さを報告を通して学び合いました。(レポート:石田 直也さん)

## 南西支部

10月30日(水) つくば市役所コミュニティ棟会議室にて  
『経営者と社員の良い関係!』  
パネリスト  
・橋本 琢磨さん テクノ&マネジメント研究所合同会社 代表社員  
・塚本 忍さん (株)大三 取締役副社長  
コーディネーター:宇田川 真由美さん (株)あおば 代表取締役



南西支部10月例会は、「経営者と社員の良い関係」をテーマにテクノ&マネジメント研究所(同)の橋本琢磨さんとアプリコット(株)の塚本忍さんをパネリスト、(株)あおばの宇田川真由美さんをコーディネーターに迎えて、社員教育委員会による問題提起例会を開催しました。社員教育に対する新しい形での例会報告となりましたが、グループ討論も含めて学び合いの機会となりました。コーディネーターの宇田川さんから「お二人のパネリストの報告と、私の実践報告をさせていただき、グループ討論で沢山の気づきを得る事ができました。先日、宮城同友会の新入社員フォローアップ研修会に参加し、ここで響いた言葉がありました。共に学ぶ。共学です。経営者だから社員だからではなく、それぞれの立場でそれぞれが学べるところが同友会にはある。共に育つ。共育。会社という組織は教えて育つものではなく、社員と一緒に成長していくもの。共に生きる。共生。私たち経営者と社員は運命共同体です。同友会を通して会社も私たちも共に成長していきたいと思えます。」とまとめていただき、社員教育とは何かを改めて考える素晴らしい例会となりました。(レポート:事務局)

## ドラゴン支部

10月10日(木) 牛久市生涯学習センターにて  
『北風から太陽へ』  
報告者:雑賀 正志さん  
(社福)河内厚生会もえぎ野 施設長



学生時代は柔道に打ち込み、教師となつてからは名門高校柔道部のコーチも務めた雑賀さん。父との約束を果たすため帰郷し現職に就くも、真剣勝負の柔道界と介護業界とのギャップに不満を募らせる毎日。しかし、熱意を持って働くスタッフを「勝たせたい!」と奮起し、周りを巻き込む様々な企画を展開。すると次第に職場には活気が生まれ、今ではスタッフが自主的に勉強会を開くまでに変化しました。相手の意見を「心で聴く」ことを心がけ、「若者が夢を持って働ける業界に変えたい」と語る雑賀さんからは、人をいかに職場づくりに本気で取り組んできた自信と壮大な夢が溢れていました。(レポート:青木 恵之さん)

【編集後記】会員の皆さまには毎度会報誌作成にご協力いただきありがとうございます。今年も残り1か月となりました。私の、年内に必ずやる事リスト【①換気扇掃除②カーテンの買替③ブラックボックス(開閉禁止のクローゼット)のホワイト化】特に③は3年程見ないふりをしてきました。今年こそは!ときめく断捨離決行!!「終わりよければ全てよし」心身環境スッキリさせ、残りの令和元年を笑顔で過ごしたいと思っています。(shimo)